

学習の前に

テキストの見方や、Windows 8がインストールされているパソコンでの環境設定、CD-ROMのセットアップなど、学習を進める際に知っておくべき内容について確認します。

※Windows 8がインストールされている環境では、各テキストに収録されている模擬試験プログラムが正常に動作しない場合があります。

※本書の記載は、次のテキストを対象としています。また、テキスト名には次の略称を使用しています。

テキスト名(型番)	略称
Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2010 対策テキスト & 問題集 (FPT1032)	MOS Word 2010 (FPT1032)
Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2010 Expert 対策テキスト & 問題集 (FPT1107)	MOS Word 2010 Expert (FPT1107)
Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2010 対策テキスト & 問題集 (FPT1031)	MOS Excel 2010 (FPT1031)
Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2010 Expert 対策テキスト & 問題集 (FPT1106)	MOS Excel 2010 Expert (FPT1106)
Microsoft Office Specialist Microsoft PowerPoint 2010 対策テキスト & 問題集 (FPT1104)	MOS PowerPoint 2010 (FPT1104)
Microsoft Office Specialist Microsoft Access 2010 対策テキスト & 問題集 (FPT1110)	MOS Access 2010 (FPT1110)

1	テキストの見方	13
2	環境設定	15
3	CD-ROMのセットアップ	21

1 テキストの見方

①理解度Check

学習前後の理解度の伸長を把握するために使います。本書を学習する前にすでに理解している項目は「学習前」に、本書を学習してから理解できた項目は「学習後」にチェックを付けます。「試験直前」は試験前の最終確認用です。

②解説

内容評価基準で求められている項目を順番に解説しています。

4-2 ウィンドウの表示を操作する

内容評価基準4 ワークシートやブックの管理

理解度Check

チェック項目	参照Lesson	学習前	学習後	試験直前
ワークシートを分割できる。	Lesson56	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
新しいブックウィンドウを開くことができる。	Lesson57	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
複数のブックウィンドウを整理して配置できる。	Lesson57	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

4-2-1 ワークシートを分割する



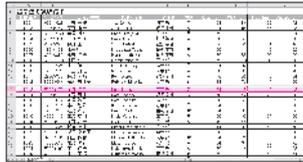
解説

■分割

「分割」を使うと、ワークシートの作業領域を複数に分割できます。分割した領域でそれぞれスクロールできるので、ワークシート上の離れた場所にあるデータを一度に表示して、確認したり比較したりできます。あらかじめ選択しておく場所によって、上下の2分割、左右の2分割、上下左右の4分割が可能です。

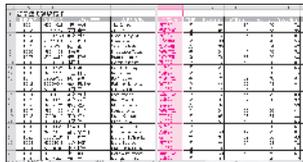
●上下の2分割

行を選択して分割すると、選択した行の上側を境にしてワークシートが上下に2分割されます。



●左右の2分割

列を選択して分割すると、選択した列の左側を境にしてワークシートが左右に2分割されます。



How to

分割

◆《表示》タブ→《ウィンドウ》グループの (分割)

③How to

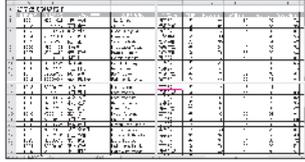
解説の内容を実行するための操作方法です。リボンやショートカットメニューなど複数の操作方法がある場合、すべて記載しています。

4 Point

用語の解説や知っていると効率的に操作できる内容など、実力アップにつながるポイントです。

●上下左右の4分割

セルを選択して分割すると、選択したセルの左上を中心にしてワークシートが上下左右に4分割されます。



Lesson 56

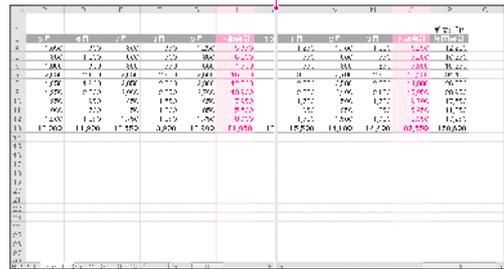
次の操作を行きましょう。

(1) G列の左側でワークシートを左右2分割し、分割した左側にH列の上期合計欄、分割した右側にO列の下期合計欄を表示してください。

(1)

- ① 列番号 [G] を選択します。
- ② 《表示》タブ→《ウィンドウ》グループの (分割) をクリックします。
※ (分割) がオレンジ色になります。
- ③ 分割した左側のワークシートのスクロールバーを調整して、列番号 [H] を表示します。
- ④ 分割した右側のワークシートのスクロールバーを調整して、列番号 [O] を表示します。

<結果>



Point

分割の解除

分割したウィンドウは解除して、もとの状態に戻すことができます。

分割したウィンドウを解除する方法は、次のとおりです。

◆《表示》タブ→《ウィンドウ》グループの (分割)

◆分割バーをダブルクリック

5 Lesson

内容評価基準で求められている項目が習得できているかどうかを確認する練習問題です。

6 操作方法

一般的かつ効率的と考えられる操作方法です。

7 結果

Lessonの練習問題を解答した結果です。

8 ※印

補助的な内容や注意すべき内容などです。

2

環境設定

1 環境設定

学習を開始する前に、パソコンの環境を設定しましょう。

設定する項目は、次のとおりです。

- 画面の設定
- プリンターの設定
- .NET Framework 3.5の設定
- Wordの設定
(「MOS Word 2010(FPT1032)」 「MOS Word 2010 Expert(FPT1107)」のみ)
- Excelの設定(「MOS Excel 2010 Expert(FPT1106)」のみ)

2 画面の設定

Windows 8では、次のように画面を設定しましょう。

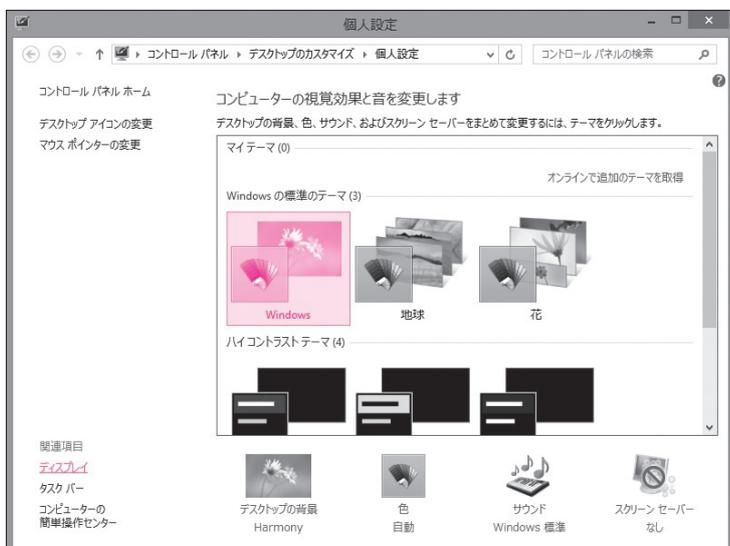
画面解像度 : 1024×768ピクセルまたは1280×1024ピクセル
テーマ : Windows
テキストサイズ : 小-100%

※画面解像度を変更すると、スタート画面のタイルやデスクトップのアイコンの配置が変更される場合があります。ご注意ください。



- ① スタート画面の《デスクトップ》をクリックします。
- ② デスクトップの空き領域を右クリックします。
- ③ 《画面の解像度》をクリックします。
- ④ 《解像度》の▼をクリックします。
- ⑤ [] をドラッグし、《1024×768》または《1280×1024》に設定します。
- ⑥ 《OK》をクリックします。

※確認メッセージが表示される場合は、《変更を維持する》をクリックします。



- ⑦ デスクトップの空き領域を右クリックします。
- ⑧ 《個人設定》をクリックします。
- ⑨ 《Windowsの標準のテーマ》の《Windows》をクリックします。
- ⑩ 《関連項目》の《ディスプレイ》をクリックします。



- ⑪《小-100%》が●になっていることを確認します。
- ※《小-100%》以外が選択されている場合は、《●小-100%》→《適用》→《今すぐサインアウト》を選択します。

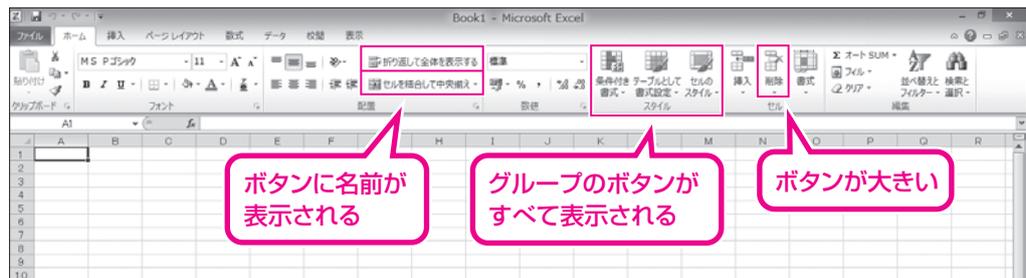
Point

ボタンの形状

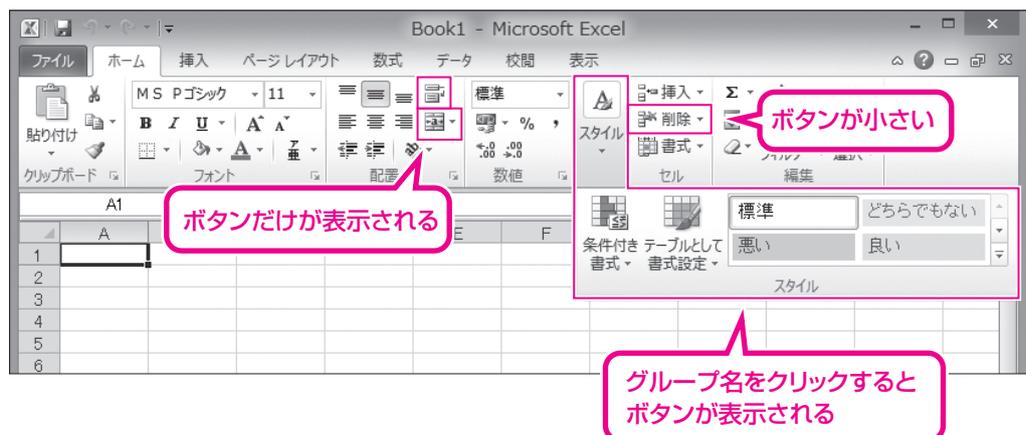
ディスプレイの画面解像度や、アプリケーションウィンドウのサイズなどによって、ボタンの形状やサイズが異なる場合があります。ボタンの操作は、ポップヒントに表示されるボタン名を確認してください。

《Microsoft Excel》ウィンドウの場合、次のようになります。

●画面解像度が高い場合／ウィンドウのサイズが大きい場合



●画面解像度が低い場合／ウィンドウのサイズが小さい場合



※各テキストに掲載しているボタンは、次の環境を基準にしています。

掲載内容	環境
内容評価基準	画面解像度を「1024×768ピクセル」に設定し、アプリケーションウィンドウを最大化した状態。
模擬試験標準解答	画面解像度を「1024×768ピクセル」に設定し、模擬試験プログラムを起動した状態。

3 プリンターの設定

プリンターが設定されていないと、印刷やページ設定の問題に解答したり、模擬試験の試験結果レポートを印刷したりすることができません。あらかじめプリンターを設定しておきましょう。なお、プリンターが接続されていない環境の場合は、仮想のプリンターで設定を行きましょう。

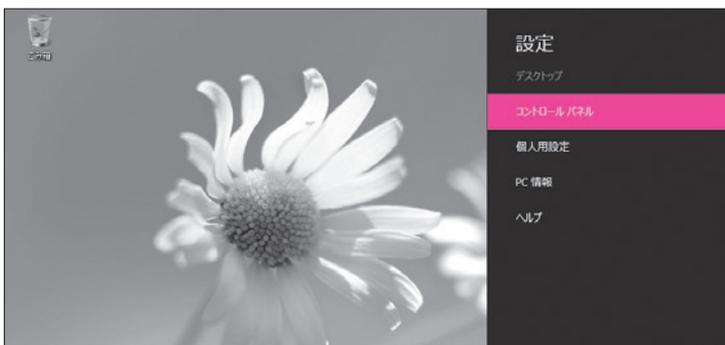
※プリンターを設定していない場合だけ操作してください。

※「MOS Excel 2010 Expert(FPT1106)」や「MOS Access 2010(FPT1110)」を学習する場合は、試験結果レポートを印刷する場合に、この操作が必要です。

※「MOS PowerPoint 2010(FPT1104)」の模擬試験には「Microsoft XPS Document Writer」を使用する問題があります。このテキストを学習する場合は、「Microsoft XPS Document Writer」が設定されているかどうかを確認しておきましょう。



- ①デスクトップの右下にマウスポインターを移動し、チャームバーを表示します。
- ②《設定》をクリックします。



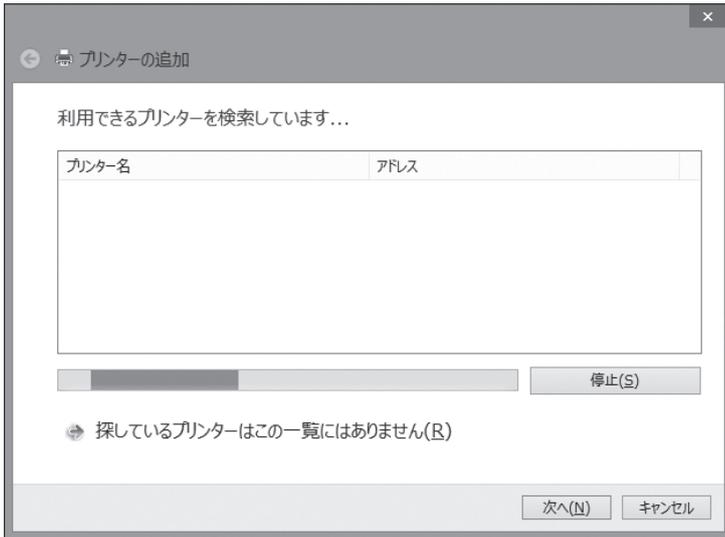
- ③《コントロールパネル》をクリックします。



- ④《デバイスとプリンターの表示》をクリックします。



⑤《プリンターの追加》をクリックします。



《プリンターの追加》が表示されます。

⑥指示に従って設定します。

※プリンターが接続されていない環境の場合は、《探しているプリンターはこの一覧にはありません》を選択し、何度か《次へ》をクリックして、《プリンターの追加》を終了します。

※「MOS PowerPoint 2010(FPT1104)」を学習する場合で、プリンターの一覧に「Microsoft XPS Document Writer」が設定されていない場合は、「Microsoft XPS Document Writer」を追加してください。

4 .NET Framework 3.5の設定

Windows 8がインストールされている環境で模擬試験プログラムを動作させるためには、あらかじめ「.NET Framework 3.5」を有効にしておく必要があります。

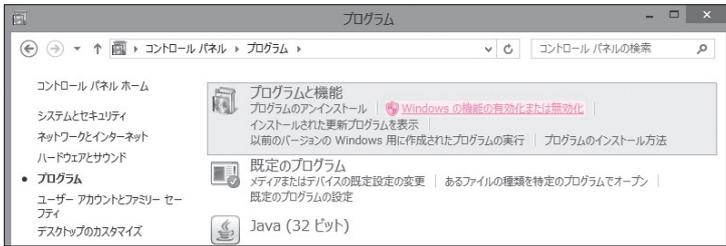


①デスクトップの右下にマウスポインターを移動し、チャームバーを表示します。

②《設定》をクリックします。

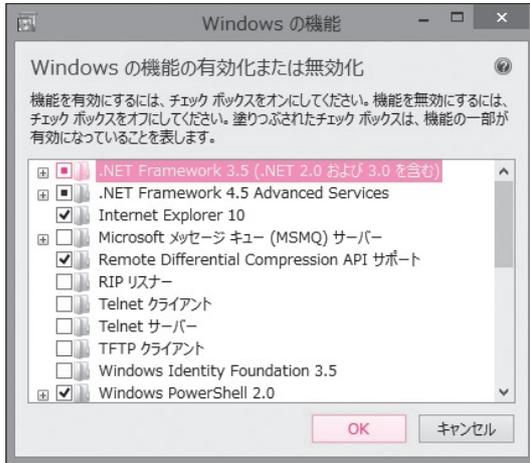
③《コントロールパネル》をクリックします。

④《プログラム》をクリックします。



⑤《Windowsの機能の有効化または無効化》をクリックします。

※《ユーザーアカウント制御》ダイアログボックスが表示される場合は、《はい》または《続行》をクリックします。《はい》または《続行》が表示されていない場合は、管理者 (Administrator) に確認してください。



《Windowsの機能》が表示されます。

⑥《.NET Framework 3.5(.NET 2.0 および 3.0 を含む)》の を にします。

⑦《OK》をクリックします。

※Windows Updateでファイルをダウンロードするメッセージが表示された場合は、《Windows Update からファイルをダウンロードする》をクリックして、必要なファイルをダウンロードします。

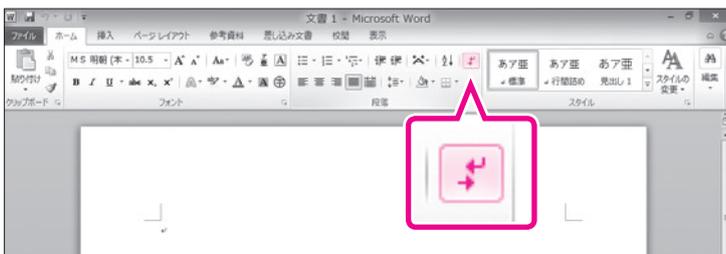
※インターネット接続環境が必要です。

5 Wordの設定

Wordの画面を次のように設定しましょう。

- 編集記号を表示する
(「MOS Word 2010(FPT1032)」 「MOS Word 2010 Expert(FPT1107)」のみ)
- 《開発》タブを表示する(「MOS Word 2010 Expert(FPT1107)」のみ)

※《開発》タブは、「MOS Word 2010 Expert(FPT1107)」の「内容評価基準1 文書の共有と管理」と「内容評価基準5 マクロとフォームの管理」で使います。



①Wordを起動します。

②《ホーム》タブ→《段落》グループの  (編集記号の表示/非表示) をクリックします。

※ボタンがオレンジ色になります。

※「MOS Word 2010(FPT1032)」を学習する場合は、次の操作は必要ありません。



③《ファイル》タブ→《オプション》をクリックします。

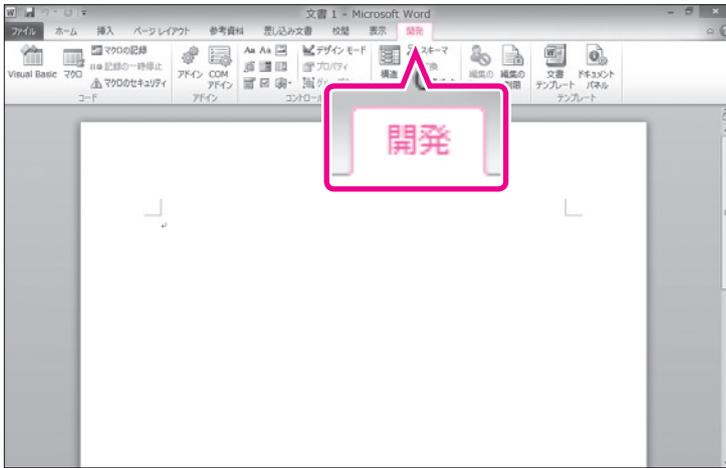
④左側の一覧から《リボンのユーザー設定》を選択します。

⑤《リボンのユーザー設定》が《メインタブ》であることを確認します。

※《メインタブ》でない場合は、 をクリックし、一覧から《メインタブ》を選択します。

⑥《開発》を にします。

⑦《OK》をクリックします。



《開発》タブが表示されます。

Point

《開発》タブの非表示

《開発》タブを非表示にする方法は、次のとおりです。

- ◆《ファイル》タブ→《オプション》→左側の一覧から《リボンのユーザー設定》を選択→《リボンのユーザー設定》の▼→《メインタブ》→《 開発》

6 Excelの設定

Excelの画面を次のように設定しましょう。

《開発》タブを表示する(「MOS Excel 2010 Expert(FPT1106)」のみ)

※《開発》タブは、「MOS Excel 2010 Expert(FPT1106)」の「内容評価基準1 ブックの共有と管理」と「内容評価基準4 マクロとフォームの管理」で使います。



①Excelを起動します。

②《ファイル》タブ→《オプション》をクリックします。

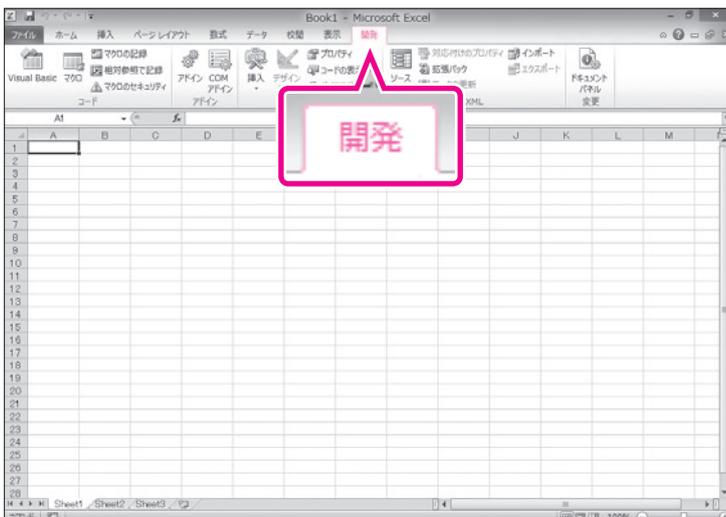
③左側の一覧から《リボンのユーザー設定》を選択します。

④《リボンのユーザー設定》が《メインタブ》であることを確認します。

※《メインタブ》でない場合は、▼をクリックし、一覧から《メインタブ》を選択します。

⑤《開発》をにします。

⑥《OK》をクリックします。



《開発》タブが表示されます。

Point

《開発》タブの非表示

《開発》タブを非表示にする方法は、次のとおりです。

- ◆《ファイル》タブ→《オプション》→左側の一覧から《リボンのユーザー設定》を選択→《リボンのユーザー設定》の▼→《メインタブ》→《 開発》

3

CD-ROMのセットアップ

1 CD-ROMの収録内容

添付のCD-ROMには、本書で使用する次のファイルが収録されています。

●「内容評価基準」のデータファイル

内容評価基準の各Lessonで使用するファイルです。
初期の設定では、《ドキュメント》内にセットアップされます。

●「模擬試験」のプログラムファイル

模擬試験を起動し、実行するために必要なプログラムです。
初期の設定では、Cドライブのフォルダー「FOM Shuppan Program」内にセットアップされます。

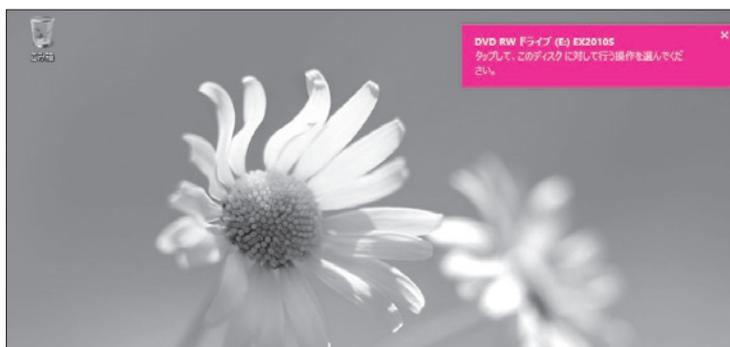
●「模擬試験」のデータファイル

模擬試験の各問題で使用するファイルです。
初期の設定では、《ドキュメント》内にセットアップされます。

2 セットアップ方法

学習の前に、お使いのパソコンにCD-ROMをセットアップしてください。

※ここでは、「MOS Excel 2010(FPT1031)」のCD-ROMを使用した場合の画面を掲載しています。



①CD-ROMをドライブにセットします。

画面の右上に、図のようなメッセージが表示されます。

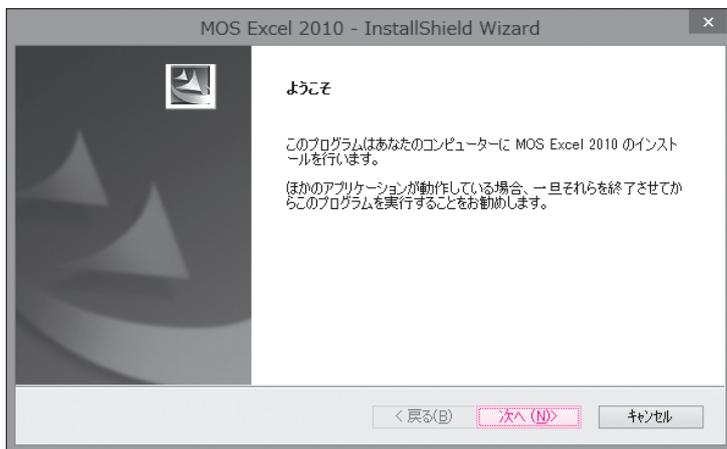
②メッセージをクリックします。



図のような画面が表示されます。

③《mosstart.exeの実行》をクリックします。

※《ユーザーアカウント制御》ダイアログボックスが表示される場合は、《はい》または《続行》をクリックします。
《はい》または《続行》が表示されていない場合は、管理者 (Administrator) に確認してください。



図のようなメッセージが表示されます。

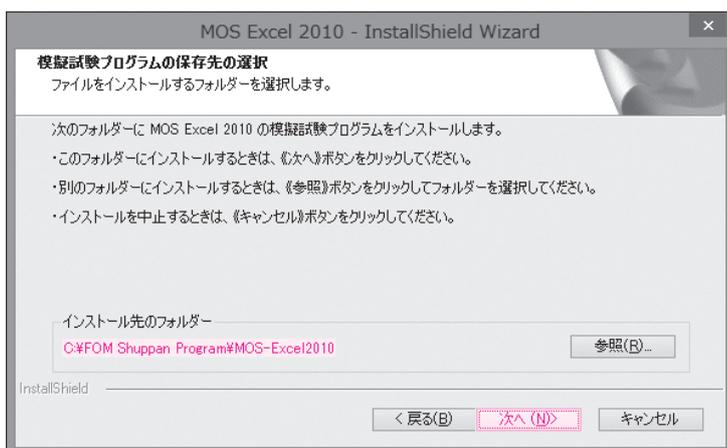
④《次へ》をクリックします。



《使用許諾契約》が表示されます。

⑤《はい》をクリックします。

※《いいえ》をクリックすると、セットアップが中止されます。



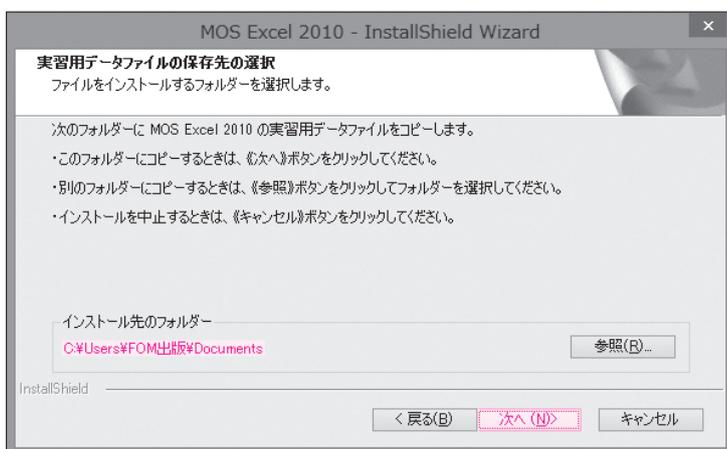
《模擬試験プログラムの保存先の選択》が表示されます。

「模擬試験」のプログラムファイルのインストール先を指定します。

⑥《インストール先のフォルダ》を確認します。

※ほかの場所にインストールする場合は、《参照》をクリックします。

⑦《次へ》をクリックします。



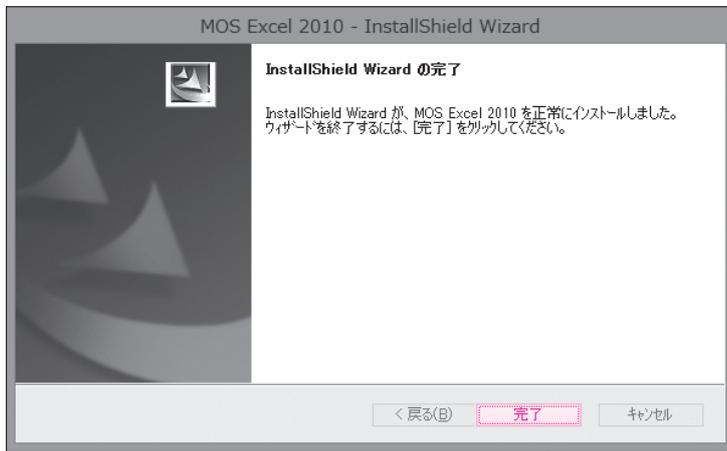
《実習用データファイルの保存先の選択》が表示されます。

「内容評価基準」と「模擬試験」のデータファイルのインストール先を指定します。

⑧《インストール先のフォルダ》を確認します。

※ほかの場所にインストールする場合は、《参照》をクリックします。

⑨《次へ》をクリックします。



セットアップが終了すると、図のようなメッセージが表示されます。

⑩《完了》をクリックします。

※環境によっては、再起動が必要な場合があります。
メッセージに従って、操作してください。

Point

セットアップ画面が表示されない場合

CD-ROMをセットしてもメッセージが表示されない場合や、セットアップ画面が自動的に表示されない場合は、次の手順でセットアップを行います。

- ①デスクトップのタスクバーの《explorer》をクリックします。
- ②ナビゲーションウィンドウの《コンピューター》をクリックします。
- ③CD-ROMをセットしたドライブを右クリックします。
- ④《開く》をクリックします。
- ⑤ファイルリストの《mosstart》を右クリックします。
- ⑥《開く》をクリックします。
- ⑦指示に従って、セットアップを行います。

Point

セットアップ時にメッセージが表示される

セットアップ時に管理者 (Administrator) のパスワードを要求するメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合は、管理者 (Administrator) に確認してください。管理者 (Administrator) でなければ、セットアップを実行できない場合があります。

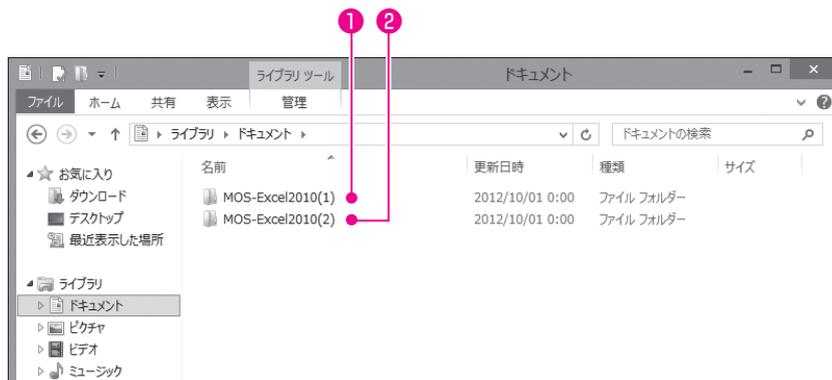
また、管理者 (Administrator) のパスワードを入力してセットアップした場合は、「内容評価基準」と「模擬試験」のデータファイルのインストール先が「C:\¥Users¥管理者 (Administrator)¥Documents」になります。必要に応じてインストール先を変更してください。

3 データファイルの確認

セットアップが完了すると、《ドキュメント》内に次のフォルダーがコピーされます。《ドキュメント》を開いて確認しましょう。

※セットアップ時にデータファイルのインストール先を変更した場合は、変更先の場所を確認してください。

※ここでは、「MOS Excel 2010(FPT1031)」のCD-ROMを使用した場合の画面を掲載しています。



①MOS-○○○○(1)

内容評価基準の各Lessonで扱うファイルがコピーされます。

これらのファイルは、内容評価基準の学習に必須です。

Lesson1を学習するときは、ファイル「Lesson1」を開きます。

※Lessonによっては、ファイルを使用しない場合があります。

各テキストでコピーされるフォルダーは次のとおりです。

テキスト	フォルダー
MOS Word 2010(FPT1032)	MOS-Word2010(1)
MOS Word 2010 Expert(FPT1107)	MOS-Word2010-Expert(1)
MOS Excel 2010(FPT1031)	MOS-Excel2010(1)
MOS Excel 2010 Expert(FPT1106)	MOS-Excel2010-Expert(1)
MOS PowerPoint 2010(FPT1104)	MOS-PowerPoint2010(1)
MOS Access 2010(FPT1110)	MOS-Access2010(1)

②MOS-○○○○(2)

模擬試験の各問題で扱うファイルがコピーされます。

これらのファイルは、模擬試験プログラムを使わずに学習される方のために用意したファイルで、各ファイルを直接開いて操作することが可能です。

第1回模擬試験の問題1を学習するときは、ファイル「1-01」を開きます。

※問題によっては、ファイルを使用しない場合や新規にファイルを作成して操作する場合があります。

※模擬試験プログラムを使って学習する場合は、これらのファイルは不要です。

各テキストでコピーされるフォルダーは次のとおりです。

テキスト	フォルダー
MOS Word 2010(FPT1032)	MOS-Word2010(2)
MOS Word 2010 Expert(FPT1107)	MOS-Word2010-Expert(2)
MOS Excel 2010(FPT1031)	MOS-Excel2010(2)
MOS Excel 2010 Expert(FPT1106)	MOS-Excel2010-Expert(2)
MOS PowerPoint 2010(FPT1104)	MOS-PowerPoint2010(2)
MOS Access 2010(FPT1110)	MOS-Access2010(2)

Point

データファイルの既定の場所

本書では、データファイルの場所を《ドキュメント》内としています。

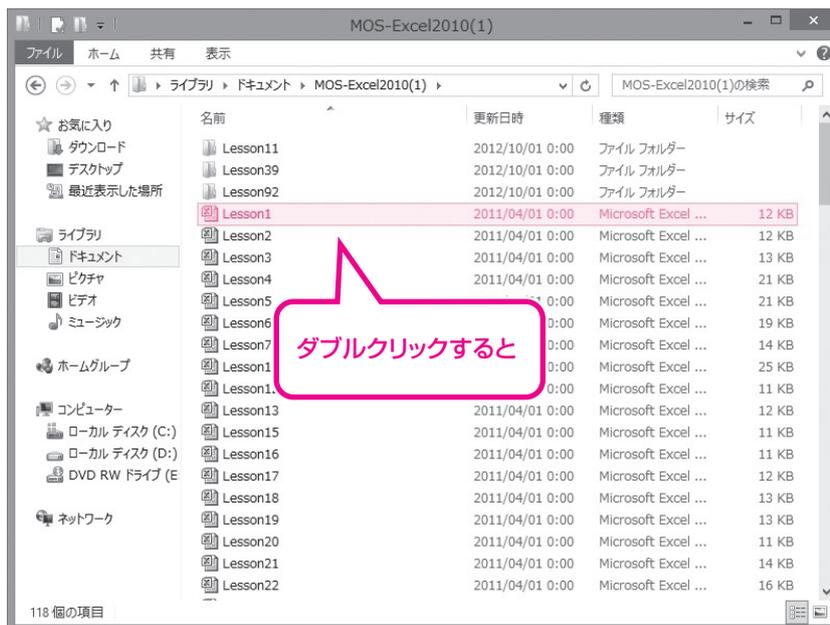
《ドキュメント》以外の場所にセットアップした場合は、フォルダーを読み替えてください。

4 ファイルの操作方法

「内容評価基準」の各Lessonを学習する場合、《ドキュメント》内のフォルダー「MOS-○○○○(1)」から学習するファイルを選択して開きます。

Lessonを実習する前に対象のファイルを開き、実習後はファイルを保存せずに閉じてください。

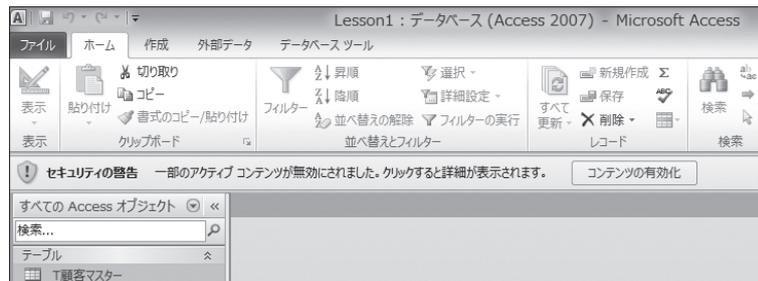
※ここでは、「MOS Excel 2010(FPT1031)」のデータファイルを使用した場合の画面を掲載しています。



Point

《セキュリティの警告》メッセージバー(「MOS Access 2010(FPT1110)」のみ)

Accessのファイルを開くと、メッセージバーに次のようなセキュリティに関する警告が表示されます。データベースの発行元が信頼できるなど、安全であることがわかっている場合は、《セキュリティの警告》メッセージバーの《コンテンツの有効化》をクリックします。



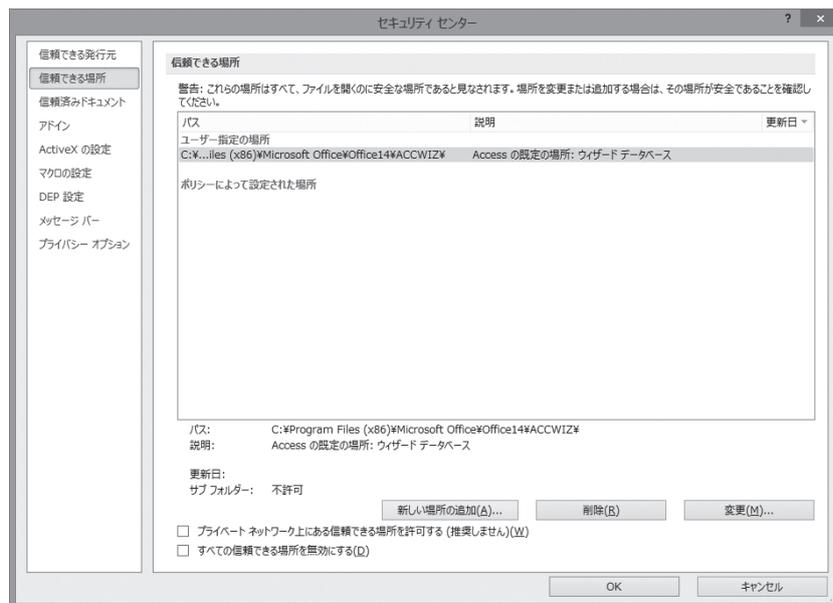
Point

《信頼できる場所》の追加(「MOS Access 2010(FPT1110)」のみ)

《セキュリティの警告》メッセージバーを毎回表示させないようにするには、フォルダー「MOS-Access2010(1)」とフォルダー「MOS-Access2010(2)」を《信頼できる場所》に追加します。

信頼できる場所を追加する方法は、次のとおりです。

- ◆ 《ファイル》タブ→《オプション》→左側の一覧から《セキュリティセンター》を選択→《セキュリティセンターの設定》→左側の一覧から《信頼できる場所》を選択→《新しい場所の追加》→《パス》を設定



5 模擬試験プログラムの起動

模擬試験プログラムを起動しましょう。

各テキストの模擬試験プログラム名は次のとおりです。

テキスト	模擬試験プログラム名
MOS Word 2010(FPT1032)	MOS Word 2010
MOS Word 2010 Expert(FPT1107)	MOS Word 2010 Expert
MOS Excel 2010(FPT1031)	MOS Excel 2010
MOS Excel 2010 Expert(FPT1106)	MOS Excel 2010 Expert
MOS PowerPoint 2010(FPT1104)	MOS PowerPoint 2010
MOS Access 2010(FPT1110)	MOS Access 2010

※ここでは、「MOS Excel 2010(FPT1031)」の模擬試験プログラムを使用した場合の画面を掲載しています。



①すべてのアプリケーションソフトを終了します。
※アプリケーションソフトを起動していると、模擬試験プログラムが正しく動作しない場合があります。

②CD-ROMをドライブにセットします。

※模擬試験プログラムの起動には、常にCD-ROMが必要です。

③スタート画面を表示します。

④スタート画面のタイル以外の場所を右クリックします。

⑤アプリバーの《すべてのアプリ》をクリックします。

⑥模擬試験プログラム名のアイコンをクリックします。

※模擬試験プログラム名のアイコンが表示されていない場合は、スクロールして調整します。



図のようなスタートメニューが表示されます。

※「MOS Access 2010(FPT1110)」を学習する場合は、「模擬試験中に《セキュリティの警告》メッセージバーを表示させないように設定を変更しますか?」というメッセージが表示されます。《はい》をクリックすると設定が変更され、《いいえ》をクリックすると1問ごとに《セキュリティの警告》メッセージバーが表示されます。《セキュリティの警告》メッセージバーが表示される場合、《コンテンツの有効化》をクリックしないと実習できない問題があります。

※模擬試験プログラムの学習方法については、各テキストの「模擬試験プログラムの使い方」を参照してください。